

分水穿孔部に用いる挿入コアを「密着形」へ統一します。

現在、本市では、サドル付分水栓の穿孔部に用いる挿入コアとして、「非密着形コア（銅コア）」及び「密着形コア」を器材承認しておりましたが、より確実な装着と防食性向上を目的として、**令和3年3月31日をもって「非密着形コア（銅コア）」を廃止**します。

令和3年4月1日以降は、「密着形コア」による施工をお願いします。

これに伴いまして、局ホームページに掲載している「指定給水用器材承認品リスト」につきましては、令和3年4月1日付けにより、「非密着形コア（銅コア）」の4品目を削除します。

なお、「非密着形コア（銅コア）」につきましては、経過措置として、**令和3年9月30日までは使用することができる**ものとします。

＜各コアの特徴＞

○非密着形コア（銅コア）



＜特徴＞
 ・穿孔穴とコアの間に隙間がある。
 →穿孔穴の錆の成長を抑制し、通水口径を確保する。

○密着形コア



＜特徴＞
 ・コアの外側にゴム又は樹脂を材料としたスリーブがある。
 →穿孔穴とコアが密着し、穿孔穴の錆の発生を防ぐ。

○密着形コア使用時の注意事項

＜穿孔きり径について＞

今回のコア統一に伴う、穿孔きり径の変更はありません。密着形コアに対応するきり径は、以下のとおりです。

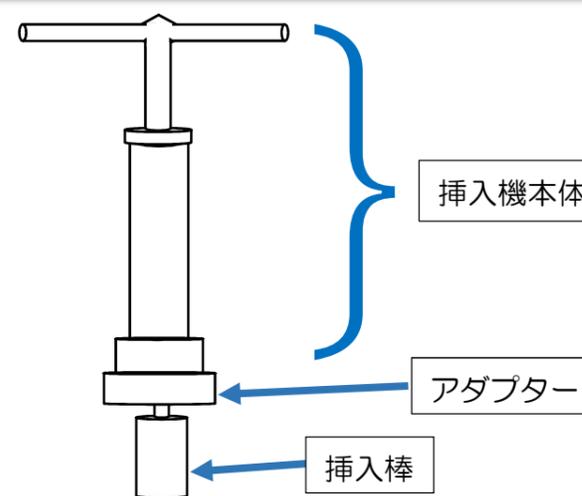
取出し口径	きり径	備考
25 mm	23.1 mm (誤差+0.2、-0)	
40 mm	38.1 mm (誤差+0.2、-0)	
50 mm	47.1 mm (誤差+0.2、-0)	ねじ式*
	49.7 mm (誤差+0.2、-0)	フランジ式*

※取出し口径 50 mmは、サドル付分水栓の接続構造によって、きり径が異なります。

＜挿入機等について＞

密着形コアの使用にあたっては、製品によりコア挿入機やアダプター等が異なります。
 事故防止の観点から事前に使用する密着形コアとコア挿入機等の互換性を確認してください。

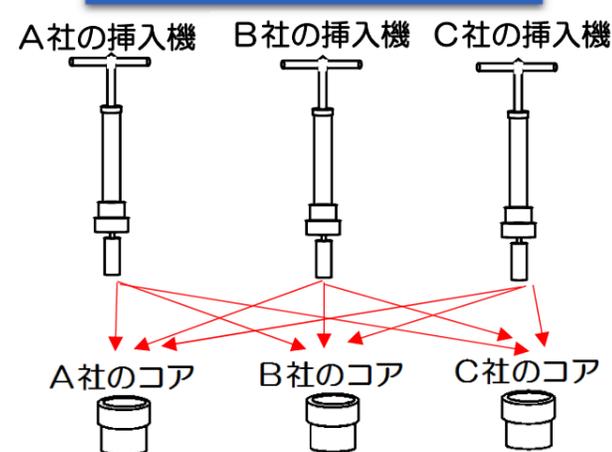
コア挿入機の構造図（一例）



現在、ご使用されている挿入機に装着しているアダプターや挿入棒を付け替えることで、「密着形コア」の挿入も可能になる場合があります。

詳しくは、製造者へお問い合わせください。

非密着形コア（銅コア）の場合



密着形コアの場合

